

外国人技能実習生受入れによる人材の確保

【株式会社テリーファーム（錦江町）】

【ポイント】

- ・ 葉ねぎの生産出荷工程を細分化し、収穫作業や調整作業等の作業について、外国人技能実習生と地域の高齢者（パート）を中心に作業を分担している。
- ・ 作業の内容や実際の作業の進め方等は、法人の担当職員と相談しながら調整している。
- ・ 周りの離農者の農地を引き受け、外国人技能実習生と共に、露地野菜の規模拡大に取り組み、地域活性化を目指す。

【経営概要】

- ・ 経営面積：42ha
- ・ 主な品目：葉ねぎ25ha,レタス9ha,キャベツ7ha,サトイモ1ha
- ・ 労働力：外国人技能実習生4人、特定技能3人（今年5人入国予定）、正社員3名、女性常時雇用（パート）10人 合計20人
- ・ 経営理念：「農業は文化である。農業が栄えれば地域も栄えるし元気も出てくる。作るだけでなく、販売も考える近代農業を目指す」



【取り組むに至った経緯】

- ・ 就農時は、ハウス園芸であったが、高齢者の離農等で農地を引き受けるうちに露地面積が拡大し、露地野菜に経営を転換した。
- ・ 露地野菜への経営転換に伴い、労働力が不足し、それを補うため、外国人技能実習生を引き受けることとした。
- ・ この取組をきっかけとして、生産は外国人技能実習生、調整作業等は地域での高齢者（パート）を中心とする雇用体系が確立した。

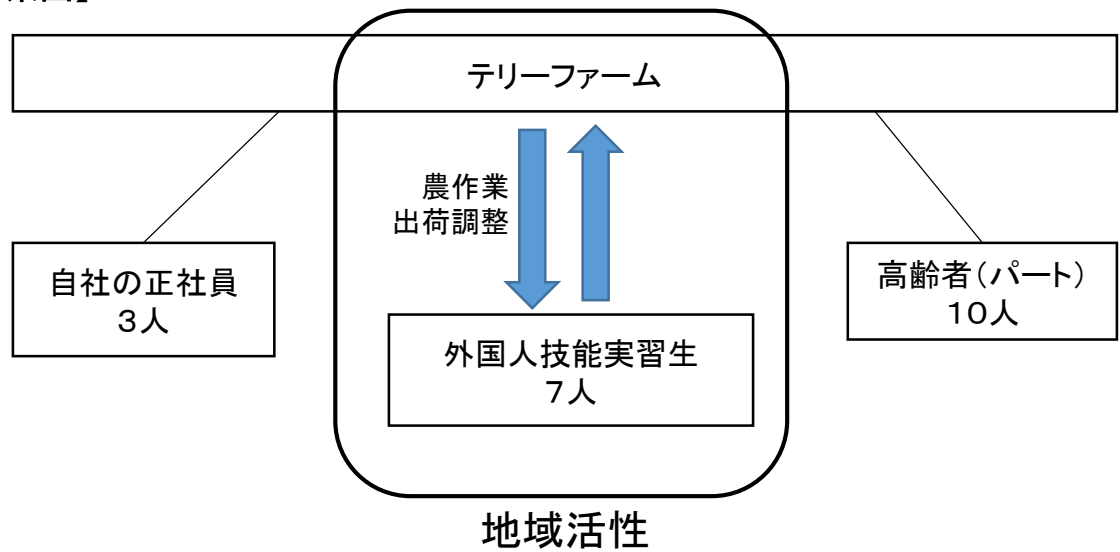
【成果】

- 外国人技能実習生と連携して生産に取り組むことにより、人手が必要な収穫作業や調整作業等に係る人材を確保。
- 離農者の農地引き受けによる耕作放棄地発生の防止。
- 高齢者雇用の安定による地域活性化。

【取組内容】

- ◆ 法人の中で、技能実習生が取り組む作業内容と出荷調整を主におこなう高齢者の作業分担。
 - ねぎ収穫作業：外国人技能実習生が根切りで収穫し、法人職員がコンテナへ集める。
 - ねぎ調整作業：法人職員が畑から調整施設へねぎを運搬し、高齢者（パート）が出荷調整作業を行う。
- ◆ 外国人技能実習生と露地野菜経営に取り組む中で、仕事上での相談や生活面での相談は、双方で話し合いながら調整している。
- ◆ 外国人技能実習生の受入方法
 - 国別に国内の複数の受入組合に相談して受け入れている。
- ◆ 受入れに当たっての注意点や工夫等
 - ・ 国別に寮を分け、ベトナム寮、カンボジア寮等にしている。
 - ・ 特定技能も現在3人いるが、能力は高いが時給や異動の容易さから都会へいきたがるので3年間で保証されている技能実習生だけを雇用する予定である。
- ◆ きちんとした労働時間の管理
 - ・ タイムカードを使い労働時間の管理。超勤については個人ごとにみると完全平等にはいかない。

【体系図】



【取り組むにあたっての留意点や改善点など】

- ◆ 外国人技能実習生の取組は、農業者側と外国人技能実習生が、文化や言葉の違いを踏まえ、お互いに試行錯誤しながら進めていくことが重要。「他は己にあらず」人の気持ちはわかりません。ましてや外国人、お互いに話をしながら進めることが大事です。